

**令和6年度
社会福祉法人ファミリーケアサービス
事業報告**

目 次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス

…p3

すこやか横手

…p3 ～ p4

特別養護老人ホームすこやか横手
ショートステイすこやか横手(介護予防)
ケアハウスすこやか横手
老人介護支援センターすこやか横手
すこやか横手居宅介護支援センター
デイサービスセンターすこやか横手(第1号通所)

すこやか大雄

…p4 ～ p5

特別養護老人ホームすこやか大雄
ショートステイすこやか大雄(介護予防)
老人介護支援センターすこやか大雄
居宅介護支援事業所すこやか大雄

すこやか森の家

…p5 ～ p6

特別養護老人ホームすこやか森の家
ショートステイすこやか森の家(介護予防)
デイサービスセンターすこやか森の家(第1号通所)

シルバードームいきいきの郷

…p6 ～ p7

特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
ショートステイシルバードームいきいきの郷(介護予防)
デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷(第1号通所)
増田町居宅介護支援事業所
増田町在宅介護支援センター

すこやか館合

…p7 ～ p8

特別養護老人ホームすこやか館合
ショートステイすこやか館合(介護予防)
小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合(介護予防)

児童発達支援事業「モモの家」

…p8

県南愛児園ドリームハウス

…p8

横手市サンハイム

…p9

障害者支援施設「ひまわり社」

…p9

事業報告(統計資料)

すこやか横手	…p11 ～ p13
すこやか大雄	…p14 ～ p16
すこやか森の家	…p16 ～ p18
シルバードームいきいきの郷	…p18 ～ p21
すこやか館合	…p21 ～ p23
児童発達支援事業「モモの家」	…p23
県南愛児園ドリームハウス	…p24
横手市サンハイム	…p24 ～ p25
障害者支援施設「ひまわり社」	…p25

令和6年度社会福祉法人ファミリーケアサービス事業報告

1. 社会福祉法人ファミリーケアサービス

県南愛児園の整備事業は、本園1棟・分園3棟の建設を行い、令和5年度から2年間にわたる整備事業（本園1棟・分園5棟）が完了した。

ひまわり社・モモの家の移転事業について、旧県南愛児園建物を改修する計画を作成し、補助申請を行った。

秋田県介護サービス事業所認定評価制度において認定を受け、職員の処遇改善や人材育成等への取り組みについて、一定の評価を得ることができた。また、「キャリア形成ができる体制の確立」の目標に向けて、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（主催：秋田県社会福祉協議会）を活用することとし、各施設から受講した。今後も経験、職責等に応じて継続的に受講し、職員のキャリア形成をはかって行きたい。

法人経営の安定化において、目標利用率に達しない事業所が多い状況にある。適切な目標設定と、その達成に向けての取り組みについて課題が残った。

2. 特別養護老人ホームすこやか横手

感染対策を徹底しながら、家族の面会の受入れや入居者の意向に沿った外出等、外部との交流や楽しみを持った生活の援助が出来ていた。人材育成について、職員が定着出来るような育成方法の検討や指導者のスキルアップを目的とした研修等を取り入れ、一定の効果が有り今後も継続的な取り組みをしていきたい。

提供目標と実績

目標 年間延べ17,338人（47.50人／日 稼働率95.0％）

実績 年間延べ16,998人（46.57人／日 稼働率93.1％）

<要因>

入院率は低かったものの、退所件数が17件と多かったことで前年度に比べ空床率が高くなった。また、2回の新型コロナウイルスの集団感染が発生したことも稼働率低下の要因となっている。

3. ショートステイすこやか横手（介護予防）

新規利用の調整を確実に図れた事により居宅介護支援事業所との連携や信頼関係が築けた。新型コロナウイルスの集団感染はなかったものの、風邪症状のある利用者を多床室から個室へ移動し適切な予防策を講じ、施設内で感染が拡大しないよう対策を徹底した。稼働率向上に向けた利用者のニーズ及び家族背景による柔軟な受入調整を図る事が今後も求められる。

提供目標と実績

目標 年間延べ 6,570人（18.0人／日 稼働率90.0％）

実績 年間延べ 5,440人（14.9人／日 稼働率74.5％）

<要因>

長期利用者の施設入所決定による退所や永眠、長期利用依頼のキャンセルなどの影響で目標とする稼働率を達成する事が出来なかった。

4. ケアハウスすこやか横手

入退去の状況は、入居4名、退去4名である。居住平均年数が4年、85歳以上12名、内90歳以上が6名とご入居者の高齢化が進み、支援・介護を必要とする方がほとんどである。家族やケアマネージャーと情報の共有をし、状況に応じて対応の提案をする等ケアハウスでの生活を継続できるよう支援している。

今後も引き続き感染症予防やご家族、関係各所と連携をし、入居者に楽しみを持ってもらいながら、ケアハウスでの生活を継続できるよう支援していく。

5. 老人介護支援センターすこやか横手

地域から寄せられる多様な相談に対し、必要な支援が提供されるよう関係機関と連携しながら、安心して暮らせる環境づくりに努めた。また、各センターや地域包括支援センターとの定期的な情報交換を通じて、相互連携を深め円滑な機能推進を図った。

6. すこやか横手居宅介護支援センター

介護保険法改正及び介護報酬改定を踏まえ、法令遵守の徹底を図った。また、第9期横手市介護保険事業計画・高齢福祉計画の施策に基づき、地域包括ケアシステムの推進に寄与した。さらに、ヤングケアラーや障害者などへの支援体制強化に向け、事例検討会や勉強会への積極的な参加を通じ、住み慣れた地域でその人らしい暮らしを支える取り組みを進めた。

<提供目標と実績>

目標：介護給付 125.0件／月

実績：介護給付 116.6件／月

<要因>

入院や介護保険施設への入所が多かったため。

7. デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）

安定した職員体制の中で、良好なサービス提供につながった。要介護1～2の利用者が増え、要介護3～5の利用者が減っている。要介護度が重い利用者ほど在宅介護継続が困難で、ショートステイ利用等の施設利用が多くデイ利用減少につながっている。引き続き新規の受け入れ、利用回数増の対応、スポット利用の受け入れを行っていく必要がある。

<提供目標と実績（定員18名）>

目標 年間延べ 4,712人（15.00人／日 利用率82.0%）

実績 年間延べ 4,051人（12.94人／日 利用率71.9%）

<要因>

新規利用者38名、利用中止者41名と出入りが多かったことが要因である。中止の主な理由は、入院に伴う状態の変化や施設入居が挙げられる。

8. 特別養護老人ホームすこやか大雄

施設内での新型コロナウイルス、インフルエンザ感染の集団発生はなく、年度末に風邪症状の方が多くみられたものの、感染症予防・拡大防止に努めながらできる限りサービス計画に沿ったサービス提供を実施した。また、季節に合わせた行事やレク活動等の取り組みも意識的に実施でき、ご入居者の楽しみに繋がった。今年度は入院者が多く、特に秋から年末にかけては月7人程重複することもあり、入院期間も長期となり、そのまま退所（療養型病棟移行）となるケースが多かった。施設での看取りについて、今年度は退所者12名の内、4名の入居者が施設での最期を迎えられた。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ17,338名（47.5名 利用率 95.0%）

実績 年間延べ16,625名（45.6名 利用率 91.1%）

<要因>

入居者の長期入院及び、新規入所調整において入居者の選定に時間を要し、空床期間が長期となったことが主な要因となり、利用率が目標を下回った。

9. ショートステイすこやか大雄（介護予防）

今年度は施設内での新型コロナウイルス等の感染流行はなく、日々の基本的な感染対策を継続しながらサービスを提供する事ができた。季節の行事や畑の収穫、ユニット調理等の活動も計画し、利用者と一緒に取り組むことができた。転倒事故が3件発生し、いずれも大きな怪我や入院には至らなかったものの、利用者の状態に合わせた対応や適切な福祉用具活用面に課題が残った。昨年度より導入した見守り介護ロボット（aams）の更なる有効活用により、利用者対応等への円滑化を進める必要がある。職員の対応について利用者より指摘されることもあった為、接遇マナーの向上も引き続きの課題である。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ3,650名（10.0名 利用率100.0%）

実績 年間延べ3,478名（9.53名 利用率 95.3%）

<要因>

体調不良や入院、施設入所等による利用中止が多く、新規利用者が定期利用に繋がらないケースも複数あった。利用問い合わせが少ない期間もあり、調整に時間を要した事で利用率が目標を下回った。

10. 老人介護支援センターすこやか大雄

相談窓口業務としては、介護サービス利用に関しての相談に対して居宅介護支援事業所と連携し対応を行なった。地域ケア会議や小ネットワーク会議等へも継続して参加し、地域の現状・課題の把握に努めた。包括・在介情報交換会にも出席し、地域課題を共有している。

<活動実績>

内 容 大雄地区ケア会議出席（6、9月）
大雄地区小ネットワーク会議出席（大雄地区21ヶ所実施 / 8ヶ所へ出席）
包括・在宅介護支援センター情報交換会出席（9月）
相談実績 相談件数：24件

11. 居宅介護支援事業所すこやか大雄

事業所移転後4年経過、介護保険認定申請やサービス利用、施設入所の定期的な相談依頼もあり、地域の介護相談窓口として認知されるようになった。

各種研修会への参加や地域ケア会議での事例発表により、配属されている介護支援専門員の専門的知識・技術習得等の資質向上も図ることができた。

<提供目標と実績>

目標 介護給付管理 月間82.5件（予防含む）
実績 介護給付管理 月間57.0件 介護予防支援計画 月間4.3件

<要因>

新規利用者の獲得と居宅支援事業所の体制強化を図ることを目的とし、介護支援専門員の増員に向けた採用活動を継続したが新規採用に至らず、月間目標件数には到達しなかった。契約締結直に特別養護老人ホーム等の施設入所及び、状態悪化や長期入院により実績に結びつかない、担当期間が短いケースが今年度も多くあった。

12. 特別養護老人ホームすこやか森の家

令和6年度の利用率目標は95%であったが、実績としては91.19%と目標に到達しなかった。施設において看取った方4名、入院中に亡くなられた方3名の退所者に対し新規入所者7名ではあったが、入所者選考までに期間を要してしまい、空床率が5.58%と目標の1.7%に対し3.88%の開きが生じてしまった。入院者数も7月～9月、2月～3月に増加し結果3.23%となっている。

入所調整に関しては、相談員体制の不足と、申込者の面談実施、入所決定後に、経済的な理由で辞退される方も多く、入所候補者の選考、決定までに1か月ほどかかっている。申込者の減少もあり、空床期間の短縮のため、普段から入所申込者を整理し、ユニット型特養希望の候補者を確定した中で選定を円滑に行っていく必要があると感じた。

新型コロナウイルス感染症は、7月に数名の発症者が出ておりゾーニング対応している。基本的な感染対策の実施に関しては、コロナ禍同様の対応を継続している。家族との面会に関しては面会場所等に一部制限はあるものの、多くのご家族が面会に訪れてくれた。ご入居者、ご家族も安心し良い影響が多くあったように感じた。今後は、嘱託医に助言をもらいながら外出行事等も積極的に予定し、楽しみのある生活へ繋げられるよう支援をしていきたい。

<提供目標と実績（定員30名）>

目標 年間延べ10,402人（28.50人／日 利用率95.0%）
実績 年間延べ9,995人（27.36人／日 利用率91.3%）

<要因>

新型コロナウイルス感染症発生により入退所調整ができない期間があった。また、医師が作成する診断書、紹介状の作成に時間を要したため。

13. ショートステイすこやか森の家（介護予防）

令和6年度の平均稼働率は67.8%と前年度と比較し、大きく下回る結果となった。主な要因としては、相談員体制の不足や、長期利用者の退所（特養入所や逝去等）の件数が多かったことと、コロナの集団感染発生があり、利用のキャンセルや制限、職員の感染に伴う体制不足による利用調整の実施が上げられる。

5月はコロナウイルスの蔓延により稼働率が50%まで低下となった。また、7月には特養での集団感染発生があり、特養の体制確保のため、職員の業務フォローが必要となり、稼働率の低下となった。今後も、利用者・職

員の体調観察と把握には、注力していかなければならない。

新規利用者は前年度より件数が少なかった。次年度は、積極的に受け入れる体制を整えていく必要がある。

年間行事に関しては、外出等はできなかったが、施設内でのデザート作りやレクリエーションを実施することが出来た。また、個別の状況に合わせて、日常の短い時間の中でも、体操や合唱を行い、気分転換や楽しみを持てるような機会を提供することが出来、今後も継続していきたい。

<提供目標と実績（定員20名）>

目標 年間延べ6,570人（18.0人/日 利用率90.0%）

実績 年間延べ4,946人（13.57人/日 利用率67.8%）

<要因>

長期利用者の施設入所や逝去が目立った。

新型コロナの影響によりキャンセルとなるケースが多く見られた。

職員の異動、退職に伴い、十分な職員体制が確保できなかった。

14. デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）

令和6年度も前年度に引き続き年間の稼働率は低下している。新規利用者の受け入れは29名、利用廃止者が11名、長期休止者3名となった。利用率の低下の原因については、昨年度と同様に利用のキャンセル率が高くなっていることが一つ上げられる。さらに新規利用者の受け入れについては、車椅子や経管栄養の利用者の送迎車両の調整や、職員体制が整わない等の理由により、受け入れができなかった。また、利用者の重度化に加えて、新規で依頼のある利用者も車椅子や特浴対応の方が増えている。そのため、送迎時間や入浴介助等の介護量の増加があり、ケア時間や職員数の確保が必要になってきている。このような状態が続いていることから、来年度は運営体制や職員体制の見直しも含めて稼働率の安定を図る方法を検討していかなければならないと考えている。

今年度の良かった点としては、デイサービスでの感染症の集団発生がなかったことと施設内で感染症が発生した際もデイサービスの営業をできる範囲で継続できたことである。利用者や家族への理解を得ながら、デイサービスの営業をできるだけ継続していけるよう今後も日頃の感染症対策を継続していきたいと思う。

<提供目標と実績（定員25名）>

目標 年間延べ 5,475人（15.0人/日 利用率60.0%）

実績 年間延べ 3,767人（10.3人/日 利用率41.3%）

<要因>

利用のキャンセル率が上がっている。（年間15.4%のキャンセル率）

職員の離職や施設内の感染症発生などにより新規利用者の受け入れ態勢が整わなかった。

利用者一人にかかるケア量、ケア時間が多くなっている。

15. 特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷

利用者の多様なニーズに寄り添い、「いきいき」とした生活がおくれるよう、効果的且つ良質なサービスを提供することを基本方針に掲げ支援にあたった。担当職員を中心に、支援方法の検討や提案、細かなニーズに応えられるよう創意工夫して対応にあたることができた。一方、関わり方において職員間で差が生じていることが課題として残った。<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ17,337人（47.5人/日 利用率95.0%）

実績 年間延べ16,733人（45.8人/日 利用率91.7%）

<要因>

令和6年3月（令和5年度）にヒトメタウイルス感染により利用率84.3%で6年度がスタートし、また12月からのコロナウイルス感染のクラスターにより入居調整ができない期間があったため。

16. ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）

介護職員による送迎の機会が増えたことで、利用者の暮らしを見るとともに、家族と接することを通して、在宅での生活に対する意識を少しずつ持てるようになってきた。

定期利用の方の利用日数が増えたことや体調不良等によるキャンセルの発生が少なく、また、問い合わせや緊急の受け入れを積極的にを行い、空き状況についても各居宅介護事業所に連絡し、前年度に比較して利用率が伸びた。

<提供目標と実績（定員11名）>

目標 年間延べ 3,615人 (9.9人/日 稼働率90.0%)

実績 年間延べ 3,590人 (9.8人/日 稼働率89.4%)

<要因>

目標を上回る利用率で推移していたが、12月と1月のコロナウイルス感染クラスターにより目標を下回った。

17. デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第1号通所）

行事として「食」をテーマに多く取り組み、春夏秋冬で「季節を味わう会」として企画実践し、利用者には好評であった。

今年度よりタブレット等の導入で記録業務の効率化に取り組み、職員も入力作業など慣れてきている。より細かい記録の入力についても会議等で見直しを行った。

<提供目標と実績（定員18名）>

目標 年間延べ 4,559人 (14.8人/日 利用率82.0%)

実績 年間延べ 4,458人 (14.4人/日 利用率79.9%)

<要因>

11月までは目標を上回る利用率で推移してきたが、12月以降入院者やショートステイ利用者の増加、施設入所等により、3月まで70%台が続いた。

18. 増田町居宅介護支援事業所

今年度の介護保険法の改正および報酬改定を受け、制度の理解を深めるとともに、法令を順守するための取り組みに注力した。また、居宅介護支援事業所での業務継続計画が義務付けられたため、他法人と共同し研修や訓練を企画・実施した。

<提供目標と実績>

目標 介護給付 125件/月

実績 介護給付 120件/月

<要因>

令和5年度実績よりは増加しているが、目標値に対して新規依頼（要介護者）件数が伸びなかった一方で、総合事業対象者（要支援）が増加したため。

19. 増田町在宅介護支援センター

横手市地域包括支援センターのランチ（横手市からの受託事業）が見直されることに伴い、社会福祉協議会が主催する小ネットワーク会議へは不参加となった。令和7年度からはランチ（受託事業）再開となることから、関係機関と連携を図り支援に繋げて行きたい。

20. 特別養護老人ホームすこやか館合

目標や重点課題にある、綿密な入所調整について、ショートステイはじめ各居宅事業所との連携、協力体制もあり、目標達成に至った。感染症に対しても対応について随時見直し、一般的な社会の認識と乖離のないよう細心の注意を払い制御できた。地域交流活動として定期的に運営推進会議や交流会を開催し、少しずつ地域との繋がりが戻りつつあると感じる。次年度も常に地域へ目を向け、繋がりを意識した活動を実施していきたい。

<提供目標と実績（29名）>

目標 年間延べ10,055人 (27.55人/日 利用率95.0%)

実績 年間延べ10,246人 (28.07人/日 利用率96.8%)

<要因>

ショートステイ長期利用の方の特養入所へのニーズを受け移行に繋がったこと、協力病院、嘱託医との連携により施設内での治療による入院率を抑えたことで目標達成に至った。ただし、ショートステイの稼働への影響も考慮しながら、入所待機者の整理と意向確認を行い、病院や居宅事業所と密に連携し新規入所に結びつけたい。

21. ショートステイすこやか館合

夏から秋にかけて、利用者数が増えるにつれ対応に追われ、気配りや職員間の情報共有が十分にできていないことが度々見られた。改善に向け会議で話し合いを進めてきており、来年度はサービスコンセプトである「よりそい」を職員一人ひとりが体現できるよう努力していく。重点課題である感染予防については努めることができ

たが、冬に風邪の発症者が出た際、初動後2週間に亘って複数名出してしまったことから、対応の徹底が出来なかった。ひとつ一つの手順に対しての根拠を理解し、今後の有事に備え、日々の支援にあたっていく。

<提供目標と実績（20名）>

目標 年間延べ5,472人（14.7人／日 利用率75.0%）

実績 年間延べ5,655人（15.5人／日 利用率77.5%）

<要因>

ホームページへの空床情報掲載、居宅事業所への営業、積極的な新規契約、長期利用の受け入れ拡大、新規初回利用後から定期利用へ繋がるよう利用者及び家族、ケアマネジャーへの提案など行うことで目標を達成した。来年度も継続的にアプローチし、目標達成に向け努めていく。

2.2. 小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる地域生活の実現」に努め、重点課題の感染予防対策について、ご利用者、ご家族にも感染対策を理解、協力をいただき、行事の日程を分ける等の工夫を行い、利用者様の安全安心な利用に心がけた。各居宅等への働きかけにより、4月の登録者数9.8名から3月の登録者数18名と上昇したが、地域ニーズを拾いきれなかった。

<提供目標と実績（登録定員25人）>

目標 月間登録者数 15.0人（利用率 60.0%）

実績 月間登録者数 14.6人（利用率 58.3%）

<要因>

上半期はコロナ発生で一時休止や入院者が相次ぎ登録解除が続き利用率を4割近く低下したが、近隣デイサービス事業所の閉鎖に伴いその利用者が当事業所利用へと繋がり登録者数増加に繋がったものの、デイサービスやショートステイのニーズが大きく西部地区の他デイサービス・ショートステイ事業所へ利用される方が多く、当事業所の登録伸び悩みの要因と考えられる。

2.3. 児童発達支援事業「モモの家」

令和6年度の在籍児童数は64名で、内訳は6歳児23名、5歳児17名、4歳児12名、3歳児9名、2歳児3名であった。新入園児は18名で、昨年度より9名減少した。年間を通して利用実績は目標値には至らず、実績数増加への対応策として、急な欠席を見越して日々の受け入れ児童数を多めに設定、欠席児への個別指導日の変更案内、ST個別指導の15時枠増加などを講じてきたが、大きな改善には繋がらなかった。

児童及び保護者支援については、今年度もそれぞれのケースに合わせたきめ細やかな対応を目指し、職員間での情報共有や話し合いを密にし、必要に応じて関係機関と連携を取りながら行ってきた。個別支援計画の作成では、保護者の願いを汲み取るとともに、個々の発達段階や特性といった実態に沿った計画を目指し、画一的な内容にならないよう、職員間での支援会議を重視してきた。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ 1,701人（7.0人／日 利用率70.0%）

実績 年間延べ 1,451人（6.0人／日 利用率59.7%）

2.4. 県南愛児園ドリームハウス

令和6年度、本園25名、地域小規模児童養護施設6名、合計31名でスタートした。年度当初に不登校、自傷行為等の問題を抱えた児童5名の入所があり、個別支援に苦慮したが個々のニーズを把握し職員全員でサポートし、夏休み以降はそれぞれ目標を見つけ安心安全な施設生活をさせることができた。また年度内に2名の家庭復帰も達成することができ、年度末には2名が就職し、それぞれ自分が希望する道に進むことができた。

短期利用等において、ショートステイ10人で延べ日数41日、レスパイトケア1人で延べ日数2日、緊急一時保護2名で延べ日数62日（相談依頼件数60件）という状況だった。入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。また県南市町村においてもショートステイを利用する子どもの人数は増えてきている。利用ニーズを反映させ、今後は新しい施設でどのように支援していくか支援プログラムを構築していきたい。

今年度は新たに本体施設1か所及び敷地外分園型小規模グループケア3棟の新施設整備をし、子どもたちの生活拠点を移すことができた。今後も新規施設を中心に地域の児童福祉の拠点としての役割を十分果たせるよう努めたい。

25. 横手市サンハイム

令和6年度は、7世帯22名でスタートした。年度後半に、3世帯の入所があったが、年度末には4世帯が地域での新たな生活をスタートした。地域での生活を目指すなかで、施設だけで支援することは難しく地域の関係機関へつなげていくことの大切さを職員で共有し、「地域資源につなげる」ことを意識しながら自立に向けた支援をしてきた。ここ数年コロナの影響で各種の行事が行えなかったことに加え入居者の入れ替わりがあったことから、初めてクッキングをしたり、湖水浴をしたり、遠くに旅行をしたりする子が多くいた。初めての経験も増え、活動や楽しみの幅が広がった一年であった。

また、4回目となる福祉サービス第三者評価を受審した。自分たちの気が付いていないところも含め評価していただいた部分を大切にしつつ、指導をしていただいた部分は見直しや改善をしながらより質の良い福祉サービスを提供できるよう引き続き努力していきたい。

26. 障害者支援施設「ひまわり社」

新型コロナウイルスをはじめとする感染症等罹患（利用者本人やその家族）により連続して欠席される方が複数名いた。また、加齢や心身機能の変化に伴い今まで従事できていた作業等が出来なくなり欠席または退所する利用者が複数名いた。

生産活動においては、ゆうメール配達業務が軌道に乗り安定的な工賃支給ができた。また、施設外就労（清掃作業請負）が終了なり、従来の事業所内での作業環境の再編成を行い工賃アップに繋げていきたい。

相談支援事業では、親が高齢になった時の事を心配されているものの、通所以外のサービスを利用していないケースが多い現状にあり、将来に向けた準備（支援）が必要である。

＜提供目標と実績（定員20名）＞

生活介護	目標	年間延べ	1,659人（稼働率85.0%）
	実績	年間延べ	1,665人（稼働率85.2%）
就労継続支援	目標	年間延べ	2,488人（稼働率85.0%）
	実績	年間延べ	2,331人（稼働率79.6%）
地域生活支援	目標	55.0件／月	
	実績	37.8件／月	
相談支援	目標	22.0件／月	
	実績	17.9件／月	

＜要因＞

就労継続支援では、加齢や心身機能の変化に伴う長期の欠席や退所が複数名おり目標値を下回った。地域生活支援では定期利用者の転居により利用率が低下した。相談支援では新規7件を新たに支援開始したものの、時間を要するケース等があり目標に達することが出来なかった。

【資料内の用語について】

※インシデント報告

事故 県および市に報告したもの。（例：転倒してケガをしたために、報告した。）

インシデント 何らかの事象が生じたもの。（例：転倒したが、ケガはなかった。）

＜この場合でも状況に応じて報告したものは、事故に区分＞

ヒヤリ・ハット 何らかの事象が生じそうになり、ヒヤリ・ハットしたもの。

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標 (%)	年間延利用数 (人)	1日平均 (人)	利用率 (%)
特養	すこやか横手	50	95.0	16,998	46.6	93.1
	すこやか大雄	50	95.0	16,625	45.6	91.1
	すこやか森の家	30	95.0	9,995	27.4	91.3
	いきいきの郷	50	95.0	16,733	45.8	91.7
	すこやか館合	29	95.0	10,246	28.1	96.8
計		209		70,597	193.41	92.8
ショートステイ	すこやか横手	20	90.0	5,440	14.9	74.5
	すこやか大雄	10	100.0	3,478	9.5	95.3
	すこやか森の家	20	90.0	4,946	13.6	67.8
	いきいきの郷	11	90.0	3,590	9.8	89.4
	すこやか館合	20	75.0	5,655	15.5	77.5
計		81		23,109	63.31	80.9
デイサービス	すこやか横手	18	82.0	4,051	12.9	71.9
	すこやか森の家	25	60.0	3,767	10.3	41.3
	いきいきの郷	18	82.0	4,458	14.4	79.9
計		61		12,276	37.61	64.4

資料1 すこやか横手

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和7年3月31日現在）

平均：男性 87.2 歳 女性 88.5 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	1	2	0	2	2	0	7
女	1	0	2	1	5	13	15	4	1	42
合計	1	0	2	2	7	13	17	6	1	49

2. 入居期間別状況（令和7年3月31日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	4	2	0	0	0	1	7
女	12	8	9	5	1	7	42
合計	16	10	9	5	1	8	49

3. 要介護度（令和7年3月31日現在） 平均 4.06

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	4	2	0
女	0	0	4	26	12	0
合計	0	0	5	30	14	0

4. 退居理由（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	4	0	4
女	0	13	0	13
合計	0	17	0	17

5. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
11	62	17	0	0	0	90

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子より 転落等	ベッドより 転落等	経管栄養管外 れ 抜去等	食事形態確認 ミス異食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移動介助 ミス	その他 介助 ミス等
19	14	1	15	1	1	27	1	1	0	10

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	458	459	455	517	499	469	475	430	474	433	443	328	5,440
平均介護度	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0	3.1

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
7	17	3	2	0	0	29

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	4	0	6	0	0	9	0	0	1	3

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ケアハウス

1. 入居・退去状況

① 平均在籍期間（令和7年3月31日現在）

在籍年数	1～6ヶ月	1～2年	3～4年	4～5年	6～7年	8～9年	10年～	平均
人数	4	5	2	2	1	1	0	4.0年

② 年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	4	4	4	4	4	4	5	5	6	6	5	5	56
女	11	11	11	11	11	11	10	10	9	9	9	10	123
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	179

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

（1）相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	1	2	4	1	1	5	3	3	3	1	4	2	30
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（2）相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	1	1	6
電話	0	2	3	1	1	2	2	3	2	1	3	1	21
来所	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	1	2	4	1	1	5	3	3	3	1	4	2	30
福祉事業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
医療・入院	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
施設入所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
各種申請代行	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	33	33	36	35	35	36	35	37	34	34	36	34	33	418
2	28	30	29	28	29	28	30	29	29	28	28	30	33	351
3	23	30	31	28	24	23	23	23	22	22	22	23	21	292
4	10	12	9	16	17	11	11	12	9	8	6	8	8	127
5	6	4	4	3	5	5	8	8	7	6	6	5	7	68
合計	100	109	109	110	110	103	107	109	101	98	98	100	102	1,256

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	12	11.5	12	12	12.5	11	12	12.5	13.5	13.5	13.5	12.5	148.5
認定調査	在宅	5	5	3	4	6	4	3	1	3	3	9	0	46
	施設	2	2	1	0	0	3	1	3	1	1	1	1	16
	合計件数	7	7	4	4	6	7	4	4	4	4	10	1	62

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	337	383	354	406	345	293	360	336	310	327	280	320	4,051
平均介護度	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.3

2. インシデント年間集計 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	15	5	6	0	0	26

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
7	2	0	0	0	1	4	1	0	0	5

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
4	0	2	0	0

資料2 すこやか大雄

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和7年3月31日現在）

平均：男性 85.6 歳 女性 89.1 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	0	1	2	3	4	0	0	11
女	0	1	2	2	4	6	13	11	0	39
合計	0	2	2	3	6	9	17	11	0	50

2. 入居期間別状況（令和7年3月31日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	4	0	3	1	1	2	11
女	9	2	5	7	3	13	39
合計	13	2	8	8	4	15	50

3. 要介護度（令和7年3月31日現在） 平均 4.31

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	4	5	11
女	0	0	4	17	18	39
合計	0	0	6	21	23	50

4. 退居理由（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	2	1	3
女	0	5	4	9
合計	0	7	5	12

5. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
13	60	4	2		1	80

発生内容

転倒等	服薬 飲み 飲忘 誤薬	車椅子 より 転落 等	ベッド より 転落 等	経管 栄養 管外 れ抜 去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折 等	設備 管理 不備 等	移乗 移動 介助 ミス	その他 介助ミ ス等	対応 提供 ミス	紛失 盗難	その他
10	19	5	2	6	5	11	8	1	3	2	1	7

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	272	251	264	280	327	280	272	331	339	293	253	316	3478
平均介護度	2.88	2.72	2.73	2.76	2.88	2.96	2.96	2.94	2.83	3.05	3.18	3.19	2.92

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
3	27	7	1	0	0	38

発生内容

転倒等	服薬 飲み 飲忘 誤薬	車椅子 より 転落 等	ベッド より 転落 等	経管 栄養 管外 れ抜 去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折 等	徘徊 無断 外出 等	移乗 移動 介助 ミス	対応 提供 ミス	紛失 盗難	忘れ 物	その他
8	7	0	3	1	1	0	0	0	0	0	8	9

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

(1) 相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	0	3	0	4	1	3	1	5	2	2	2	1	24
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	0	3	0	4	1	3	1	4	2	2	2	1	23
来所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	0	3	0	4	1	2	1	5	2	2	2	1	23
福祉事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	1	6
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	25.8	13	14	16	15	18	16	17	15	15	13	13	12	177
2	36.5	18	18	20	19	22	22	21	21	24	22	21	22	250
3	18.3	12	10	10	10	9	9	11	12	10	10	11	11	125
4	9.9	7	8	7	6	6	5	4	5	5	5	3	7	68
5	9.5	5	5	2	6	7	5	4	4	7	6	6	8	65
合計	100	55	55	55	56	62	57	57	57	61	56	54	60	685

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	15	16	13	13	13	13	13	14	16	16	16	14	172
認定調査	在宅	5	2	1	3	3	0	2	2	3	0	1	1	23
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	5	2	1	3	3	0	2	2	3	0	1	1	23

資料3 すこやか森の家

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和7年3月31日現在）

平均：男性 86.8 歳 女性 89.1 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	1	0	0	1	1	1	0	4
女	0	1	0	2	3	7	4	6	2	25
合計	0	1	1	2	3	8	5	7	2	29

2. 入居期間別状況（令和7年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	0	1	1	0	0	2	4
女	7	3	2	2	1	10	25
合計	7	4	3	2	1	12	29

3. 要介護度（令和7年3月31日現在） 平均 4.03

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	1	2	4
女	1	0	3	14	7	25
合計	1	0	4	15	9	29

4. 退居理由（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	6	0	6
合計	0	7	0	7

５．インシデント年間集計（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意 見	その他	合計報告数
１	３７	７	３	０	０	４８

発生内容

転倒等	服薬飲 み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
６	１８	０	１	２	３	１	０	５	０	９

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
３	０	０	０	０

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
利用延 べ人数	４３５	３０５	４５２	３６９	４０３	４０８	４１２	４２２	４５５	４４８	４１９	４１８	４９４６
平均介 護度	２．７５	３．００	２．６８	２．７９	２．８８	２．７９	２．７７	２．６０	２．６１	２．６２	２．６０	２．６７	２．７３

２．インシデント年間集計（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意 見	その他	合計報告数
５	３０	１２	２	０	２	５１

発生内容

転倒 等	服薬飲 み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去 等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
９	１２	０	１	０	１１	３	０	８	２	３

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
２	０	０	０	０

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
利用延人数	３０８	３０６	３０５	３２３	３０５	３４０	３６４	３３４	３３３	２８９	２８２	２７８	３７６７
平均介護度	２．２	２．２	２．２	２．２	２．１	２．０	２．０	２．０	２．０	２．２	２．１	２．１	２．１

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
2	19	1	3	0	0	25

発生内容

転倒等	服薬飲 み忘れ 誤薬等	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
6	2	0	0	0	5	3	0	4	0	2

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
3	0	0	0	0

資料4 シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和6年3月31日現在）

平均：男性 86.2 歳 女性 89.3 歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	1	0	1	3	3	0	0	8
女	0	0	2	3	3	8	14	8	2	41
合計	0	0	3	3	4	11	17	8	2	49

2. 入居期間別状況（令和7年3月31日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	3	3	1	0	0	4	8
女	15	5	5	6	6	5	41
合計	18	8	6	6	6	9	49

3. 要介護度（令和7年3月31日現在） 平均 4.55

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	2	5	8
女	0	0	1	16	24	41
合計	0	0	2	18	29	49

4. 退居理由（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	17	0	17
合計	0	20	0	20

5. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
3	97	19	0	0	0	119

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外 れ 抜去等	食事形態 確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移動 介助 ミス	その他 介助 ミス等
0	2	8	14	13	8	48	0	0	0	7

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	296	287	299	349	306	332	307	289	271	217	288	349	3590
平均介護度	3.4	3.7	3.3	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.4	3.5

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
2	31	3	1	0	0	37

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外 れ 抜去等	食事形態 確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移動 介助 ミス	その他 介助 ミス等
5	0	4	6	0	1	8	0	0	0	11

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	367	407	369	413	396	379	404	380	337	354	320	332	4,458
平均介護度	2.3	2.2	2.3	2.2	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2	2.3	2.3	2.2

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	21	31	0	0	0	52

発生内容

転倒等	服薬飲 み忘れ 誤薬等	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄 養管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
3	0	0	0	0	0	4	1	0	1	12

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	23.1%	22	22	25	25	27	26	27	23	24	24	23	21	289
2	38.1%	39	40	40	40	40	41	40	38	37	40	41	42	478
3	23.4%	23	21	21	25	24	26	25	26	25	27	25	25	293
4	10.0%	11	11	10	8	8	9	9	10	12	12	12	13	125
5	5.4%	6	6	6	7	7	6	6	5	5	4	5	5	68
合計	100%	101	100	102	105	106	108	107	102	103	107	106	106	1,253

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	27	27	28	27	27	26	27	29	28	28	28	27	329
認定 調査	在宅	4	3	1	9	3	2	7	6	3	7	5	2	42
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	4	3	1	9	3	2	7	6	3	7	5	2	42

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

（1）相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	4	5	4	1	1	1	1	0	1	0	0	0	18
継続相談	4	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	11

（2）相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪 問	6	2	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	15
電 話	2	4	4	0	0	0	1	0	0	1	0	1	13
来 所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(3) 相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	8	7	4	2	1	1	1	0	1	0	0	1	26
福祉事業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
医療・入院	2	4	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	12
施設入所	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
各種申請代行	6	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	10
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	7
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料5 すこやか館合

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和7年3月31日現在）

平均：男性 87.0 歳 女性 90.8 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
女	0	0	0	0	3	5	11	2	2	23
合計	0	0	0	1	4	6	13	2	2	28

2. 入居期間別状況（令和7年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	1	0	3	1	0	0	5
女	4	6	5	2	2	4	23
合計	5	6	8	3	2	4	28

3. 要介護度（令和7年3月31日現在） 平均 4.04

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	0	4	1	5
女	0	1	5	10	7	23
合計	0	1	5	14	8	28

3. 退居理由（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	2	0	2
女	0	2	0	2
合計	0	4	0	4

5. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	38	11	0	0	0	49

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
0	2	0	0	0	2	17	0	0	1	16

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	302	340	375	425	482	494	548	549	554	527	512	547	5655
平均介護度	2.63	2.68	2.82	2.93	3.01	2.98	2.97	2.93	2.92	2.88	3.00	2.99	2.90

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
2	42	8	2	0	0	54

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ 誤薬	車椅子 より 転落等	ベッド より 転落等	経管栄養 管外 れ 抜去等	食事形 態確認 ミス異 食等	外傷 打撲 骨折等	徘徊 無断 外出等	設備 管理 不備等	移乗移 動介助 ミス	その他 介助 ミス等
7	12	7	4	0	1	2	0	0	1	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

小規模多機能型居宅介護

1. サービス利用状況

利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	147	213	191	208	207	216	254	295	322	299	309	349	3010
泊り	76	119	110	101	106	128	153	134	141	145	145	166	1524
訪問	11	0	8	0	13	12	14	13	0	0	0	0	71

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	36	54	51	55	37	47	58	50	51	51	45	52	587
泊り	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	7
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. インシデント年間集計（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	12	1	0	0	0	13

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	7

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

資料6 児童発達支援事業「モモの家」

1. 入退園状況（令和7年3月31日現在）（単位：人）

区分 性別	本年度入園 児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度 へ移る
		普通	特学	支援学校	その他		
男	54	12	6	3	1	22	32
女	10	1	1	0	1	3	7
計	64	13	7	3	2	25	39

2. 年齢別表（令和7年3月31日現在）（単位：人）

年齢 人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	その他	合計
合計	0	0	3	9	12	17	23	0	64

4. 月別通園状況（令和7年3月31日現在）（単位：人）

月別 内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通園延べ人数	92	116	99	112	107	110	134	127	143	143	132	136	1451
療育日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
平均人数	4.38	5.52	4.95	5.09	4.86	5.79	6.09	6.40	7.15	7.53	7.33	6.80	5.97

5. 障害の種別（令和7年3月31日現在）（単位：人）

障害別 性別	身体障害 者手帳有	診断名有 (知的障害)	診断名有 (自閉症 [※] ・ADHD・注意欠陥多動障害等)	診断名有 (ダウン症・てんかん等)	その他	合計
男	0	6	4	2	42	54
女	0	0	1	1	8	10
合計	0	6	5	3	50	64

資料7 県南愛児園「ドリームハウス」

1. 在籍状況（毎月1日現在）

本園

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25	29	30	28	28	28	28	28	28	28	28	27

（平均 27.9人／月 利用率93.1%）

分園（地域小規模児童養護施設さずな）

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5

（平均 5.3人／月 利用率87.5%）

2. 短期利用等状況（一時保護、ショートステイ）（月延べ人数実績）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
ショートステイ	0	0	0	0	0	0	10	2	8	8	8	5	41
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	21	31	62
レスパイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

3. 出身地別

（単位：人）

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	美郷町	合計
10	5	2	8	5	1	0	1	32

4. 学年別

（単位：人）

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男子	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	3	1	10
女子	1	1	2	1	0	2	0	7	1	5	0	1	1	22
計	1	1	2	4	0	2	1	7	2	5	1	4	2	32

資料8 横手市サンハイム

1. 入退所及び一時保護の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	世帯	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
	人数	0	0	0	0	0	3	0	2	2	0	0	0	7
退所	世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	11
1日 在籍	世帯	7	7	7	7	7	7	8	9	9	10	10	8	96
	児童	15	15	15	15	15	15	17	18	18	19	19	16	197
	合計	22	22	22	22	22	22	25	27	27	29	29	24	293
一時保護 【世帯数】		0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3

2. 措置機関別世帯数

地域別	横手市	羽後町	秋田市	広域	合計
世帯数	4	2	1	1	8
子どもの数	8	5	1	2	16

3. 世帯構成数

家族の人数	2人	3人	4人	5人	合計
世帯数	2	4	2	0	8

4. 退所理由

自立	再婚等	本人の意思	その他	合計
0	0	3	1	4

5. 児童の学年

学年	0～2歳児	3～5歳児	小1～3	小4～6	中学生	高校生	合計
合計	0	1	2	5	6	2	16

6. インシデント

苦情件数	意見	その他	ヒヤリ・ハット	インシデント	事故
10	3	1	5	0	0

資料9 障害者支援施設「ひまわり社」

1. 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	144	151	146	150	136	131	157	141	143	119	119	128	1665
就労B	235	227	214	205	176	167	201	187	197	180	168	174	2331

利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	10	2	12
就労B	9	4	13

3. 障がい種別（人） 重複あり

	知的	身体	精神	合計
生活介護	11	3	1	15
就労B	11	2	2	15

4. 障がい程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	0	6	4	2	4.66
就労B	－	2	2	1	－	－	2.80

5. 日中一時支援事業 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	39	52	44	51	31	42	49	40	32	25	26	23	454

6. 相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援 （計画・児）	39	14	20	11	19	20	17	17	19	13	11	15	215

